攻撃遮断くん
導入事例集

※掲載許可をいただいた企業様のみ掲載しております。

株式会社ファンコミュニケーションズ様

– 導入までの経緯をお聞かせください。

まず、コーポレートサイトのセキュリティを向上させようというプロジェクトがありました。
サイバー攻撃に対しては手動でIPアドレスをブロックして回避していたのですが、攻撃の頻度や種類も増えてきたため、
WAFサービスを探し始めたのが最初のきっかけです。

– 「攻撃遮断くん」をお選びいただいた決め手は何でしょうか。

いくつかセキュリティサービスの候補を出したのですが、直接IPアドレスにくる攻撃には対応できないものがほとんどでした。
そこで御社の攻撃遮断くん（サーバセキュリティタイプ）ならそうした攻撃も防げて、
簡単に導入できるということでしたので、選ばせていただきました。
翌営業日から導入できる点と、申込までのフローが簡単だったのはよかったですね。
また、とりあえずトライアルでやってみようかなと思えたことも、攻撃遮断くん導入の
きっかけとなりました。
それから、やはり他社よりも低価格であることは非常に大きかったですね。
また、ひと月のデータなどを見てから導入を決めたのですが、その際のレポートもわかりやすかったです。
レポート内容がロボット的な集計だけではなく「こうしてブロックしたほうがいいですよ」と対応策も書いてあり、
人の手が入っている部分も気に入りました。

– 「導入してよかった」と感じていただけた場面はございますか。

まずはサイバー攻撃が見える化されている点ですね。ログを見ればわかることをより視覚的に理解できます。
また、わかりやすいレポートをエクスポートできる機能があるので、エンジニアではない人に対しても説明がしやすいです。
こういった攻撃を受けているけれどもブロックしていますよ、という状況をわかりやすく伝えられることが
非常に良かったと思っています。

– 弊社へのイメージやご要望をお聞かせください。

私たちの要望をヒアリングして、良いものは反映していこうという意識が伝わってきます。
例えば管理者機能だったりユーザー権限の付与など、こういう機能が欲しいですというお話しをしたら、
いつまでにリリースを目指していますというお返事をいただいたり、細かいことですが、請求書の形式などにも
柔軟に対応していただいたこともその一つです。
今後もさらなる新機能の実装に期待しております！

ECのミカタ株式会社様

– 導入までの経緯をお聞かせください。

まず弊社の事業内容のひとつに、ネットショップ事業者様向けの専門媒体の運営があります。セミナー・WEB媒体・紙媒体を運営しておりますが、その中でも特にWEB媒体を軸に事業を展開しています。

このWEB媒体を運営していく中で、年々会員数も増えて扱うデータ量も増えてきました。そんなときに、世間ではちょうど大手企業の個人情報流出に関する事件が起こっていました。そういった事件を受けて、弊社でも何か対策をしないといけないと思ったことがきっかけです。

また、ほぼ同時期に弊社が運営している媒体のコンテンツで、「セキュリティ特集」を組むことがありました。その際にWEBセキュリティについて調べるわけですが、調べて知識が付いていくうちに、自社のサイトは大丈夫なのか？会員情報は大丈夫なのか？と、さらに危機感を感じるようになりました。

こうした状況からまずは現状を把握しようと、すぐにセキュリティ診断テストを実施しました。結果は非常に危険という内容であったため、早急にWEBサイトのセキュリティツールを探し始めました。

– 「攻撃遮断くん」をお選びいただいた決め手は何でしょうか。

WEBサイトのセキュリティツールの中でも、クラウド型WAF「攻撃遮断くん」のことはどこかで聞いて知っていたのですが、知り合いからも「攻撃遮断くん」がオススメだと紹介してもらい、詳しく話を聞いてみることにしました。とにかく急いで対策したかったのですが、すぐに導入できる点、尚且つ効果の高いサービスであり、費用も安い。この3点から導入を決めました。

セキュリティ対策を完璧に施そうと思えばいくら費用を費やしてもきりがありませんが、「攻撃遮断くん」を入れておけばサイトに対する攻撃を遮断できますし、会員情報も守れるため、最低限必要なものとして導入しました。

– 「導入してよかった」と感じていただけた場面はございますか。

まず、こんなにもサイバー攻撃が来ているという事実に驚きました。また、攻撃をヴィジュアルで把握できるため、今まで見えていなかったサイバー攻撃を目で見て、実感して、対策できている実感が得られるようになりました。

我々のビジネスにおいてデータベースは資産ですので、その資産が守られているとわかり、大きな安心感を得られています。

– 導入を検討中の企業様へ向けて提言などがあればお聞かせください。

ネットショップでは個人情報やカード情報、何を買ったかという重要なデータを保有しています。お客様の大切な個人情報がサイバー攻撃によって漏れてしまうと、会社が倒産してしまうリスクがあるということを強く認識しておく必要があると思います。

重ねて言いますが、たった一度の流出でとてつもない損害を被る恐れがあります。そういったことからも、セキュリティ対策は何よりも優先すべきことではないでしょうか。

– ありがとうございました。

全国信用金庫厚生年金基金様

全国信用金庫厚生年金基金

－導入までの経緯をお聞かせください。

まず、全国信用金庫厚生年金基金（以下、信用金庫年金）のホームページには加入者様・事業者様向けのログインページがあるため、当基金がもとになってほかの事業者様・お客様に迷惑をかけてはいけないという強い危機感を持っていました。

当然、以前からウイルス対策は実施していましたが、平成27年5月に日本年金機構の大量データ消失事件を受けて、次に狙われるのは自分達かもしれないといった認識のもと、本格的にホームページの改ざん防止対策と標的型メール攻撃対策の検討を始めました。

また、早急に信用金庫年金内でセキュリティに対しての対策や社員に対しての意識づけなども行いました。

しかし、ログチェックも徹底し臨戦態勢で臨んでいた矢先、メールに添付されたマルウェア（トロイの木馬）が、フィルターをすり抜けてネットワーク内のクライアントPCに送られてきました。カーソルを当てただけでメールが開いてしまう最新のウイルスでしたが、幸いにも、定時の定義体更新を終えた1時間後にウイルスソフトに引っかかり削除されたことが確認されました。念のためサーバー内のチェックを行いましたが、感染被害はありませんでした。

いつホームページが改ざんされるか分からない状況では、加入事業所様も安心してホームページを使えませんし、万一、当基金がウイルスを撒き散らすようなことになっては大変です。そのため、エンドポイント対策、環境分離、入口出口対策による多層型の標的型メール攻撃対策と合わせて、ホームページの改ざん防止ＷＡＦサービス、改ざん検知自動修復サービス等を導入することとし、特にホームページの防御対策を先行させることにしました。

－「攻撃遮断くん」をお選びいただいた決め手は何でしょうか。

改ざん防止対策について数社の製品・サービスを比較しましたが、その中でもシステム基盤の変更や導入までの準備期間を要せず、なるべく低廉なコストで最大の防御を得られるものに絞りました。今後もＷＥＢサーバーを公開せず、ホームページは外部のホスティングサービスを使用することを前提にクラウド型ＷＡＦサービスを導入することとし、サイバーセキュリティクラウド社の「攻撃遮断くん」の導入を決定しました。

また、システムを色々といじることなく、DNSを切り替えるだけというシンプルさも良かった点のひとつです。

そしてやはり価格も重要でした。求めるサービスの条件を満たしていても価格が非常に高く、導入の検討に至らなかったサービスもあります。その点「攻撃遮断くん」の価格は魅力的でした。

－「導入してよかった」と感じていただけた場面はございますか。

本格稼働してから毎月レポートを届けていただいておりますが、導入後から年末にかけて海外のあちこちから相当数の攻撃を受けていたことが判明しました。システム基盤の改修などの準備期間を要さず、導入が後手に回らなかったことが本当に良かったと思っています。

また、レポートも簡潔で一目でリスク状況が把握できるので、とても安心できます。

－導入を検討中の企業様へ向けて提言などがあればお聞かせください。

毎日、定期的に名前や経由国を変えながら１ユーザーに数件ずつのマルウェアがメールで送られてきます。インターネット環境は、もはや無法地帯の様相です。どこかの国の言葉ではありませんが、無防備な状態を放置してホームページを改ざんされたり、マルウエアを押し込まれたりする方が悪いと思わなければならない状況です。

少なくとも法人としてインターネットを利用する以上は、不用意に踏み台にされて加害者とならないこと、情報を流失することでＨＰ利用者や個人情報提供者に対して二次被害を及ぼさないことが、社会的、道義的責任だと思います。

近頃はシステム環境の大小、保有する個人情報の多寡に応じて利用できるセキュリティサービスの選択肢も増えてきていますので、「何かが起こってしまう前に」、直ぐに行動を起こすのが吉だと思います。

－ありがとうございました。

株式会社HDR様

– 導入までの経緯をお聞かせください。

弊社はEC事業を行っているため多くの個人情報を扱います。そういったデータはまた別の場所で管理していますが、サイバー攻撃によってサーバーのリソースに大きな負荷がかかることを懸念していました。また、WordPress使っているところであればWordPressの脆弱性を狙われてしまえば全部やられてしまうのと同じように、他サービスも同一のOSを使用していますので、OSに脆弱性があった場合のことなども懸念していました。

– 「攻撃遮断くん」をお選びいただいた決め手は何でしょうか。

やはり他社のサービスも色々と調べました。ファイアーウォールのハードとして提供されているものなど、クラウド型WAF以外のサービスも検討していました。ただ、その中でも「攻撃遮断くん」は仕組がシンプルでわかりやすいと感じました。
そしてもうひとつは重視したのは価格です。セキュリティサービスはまず使ってみないとわからないことも多いので、非常に取り入れやすいという点で魅力的な価格でした。

– 「導入してよかった」と感じていただけた場面はございますか。

やはり可視化です。サイバー攻撃を可視化して見れるということは導入してよかったと感じる点のひとつです。もちろんそれがきちんと遮断されているということで安心感もあります。

– 導入を検討中の企業様へ向けて提言などがあればお聞かせください。

一言でいえば、「対策は簡単ですよ」ということです。全てのサイバー攻撃に対して100%完璧な対策を講じることは難しいですが、その確率を上げることは簡単にできます。全ての攻撃を完璧に対策しようと思うと、多額の費用をかけてとても難しいことをしたり、担当者を雇用してリソースを割くなど、大変ですよね…。それよりもレイヤーを１つ増やしてポンッとお守りみたいな感じでサービスを導入してみる。それだけで例えば全ての攻撃の70%を抑えらたとなったら、非常にインパクトは大きいです。
暗闇を何もなしで歩くと怖いですよね。いつ穴に落ちるかわからないし、つまづくかもしれない。懐中電灯があれば危険に陥る確率を下げることができます。要するに、何もセキュリティ対策を行っていないのなら、サービスを導入しない理由はないのではないかと思います。

– ありがとうございました。

株式会社アールオーアイ様

– 攻撃遮断くんの導入の経緯と、攻撃遮断くんを選んだ理由をお聞かせください。

弊社が展開するサービスの中でPHPで管理画面を動かしているものがありまして、そこの脆弱性に不安があった為、まずは攻撃の頻度などを知っておきたいというところからセキュリティサービスを探し始めました。

一時期は機器を導入しようかなとも考えていました。ただ停止時間が発生することと、さまざまな知識が必要になることがネックになっていました。

攻撃遮断くんに関しては、低価格なのはもちろんですが、攻撃遮断くんの特徴として、導入にあたってまったくサービスを止めなくていいという点が非常に大きかったです。

– 「導入してよかった」と感じていただけた場面はございますか。

すごくたくさんあります。とにかく軽いですね。動作が軽い。ウェブサーバーの負担が増えたときに、攻撃遮断くんの動作をオフにもできますが、オフにしてもほとんど負担が変わらなくて（笑）攻撃遮断くんが原因で負担がかかっているわけじゃないんだなと実感しました。

もうひとつは、軽いのにしっかり守ってくれるところです。また、様々な攻撃を全て列挙してくれますので、ログが全部わかるところです。 さらに言えば、月次のレポートです。本来は私がレポートとしてまとめる内容がまとまって送られてきますので、社内でそのまま使えるところも嬉しいですよね。

– 「攻撃遮断くん」にこんな機能があったら嬉しいなど、ご要望などはございますか。

この前いらっしゃった営業の方が、私たちが希望していた様々な機能を来月にも全て実装してくれるとおっしゃっていました。 ということなので、それができると何もなくなっちゃうんですよね（笑）また要望がでてきましたらご相談させていただきます。

また、御社には要望を詳しくヒアリングしていただきましたし、さまざまなな提案もしていただきました。トータルでセキュリティを見ていただけるような方がいたので、安心してお付き合いできるなと感じています。

– ありがとうございました。

ギークス株式会社様

geechs

– まずは導入のきっかけをお聞かせいただけますか。

犯罪被害や事故を未然に防ぐため、サーバをはじめ社内全体のセキュリティにどういったリスクがあるのか洗い出してみたんです。その結果、ある事業のデータを収めたサーバに大きなリスクがあると指摘が集中しました。ひときわ重要な情報が詰まった部分なので、ここのセキュリティ強化が最優先課題だという話にまとまったんですね。そんな流れからサーバのセキュリティサービスについて、特にIPSについて下調べを進めるうち、「攻撃遮断くん」の名前を知りました。

– 「攻撃遮断くん」を選んでくださった理由は何でしょうか。

当社ではクラウドプラットフォームを使っているので、専用機器を物理的に組み込む必要があるネットワーク型サービスは使えませんでした。そのためソフトウェアとして入れられることを条件に探したのですが、この条件だけでもかなり選べる製品は限られていましたね。最終的な決め手になったのは費用の安さです。

– 導入後、「入れておいてよかった」と感じられた点はございますか。

リアルタイムに届くメールのおかげで攻撃の概要を把握できたのは良かったです。ただセキュリティサービス全般に言えることですが、「入れてよかった」はなかなか実証しづらいところがありますよね。本当にそのサービスの力で危機を回避できたのか、もしかするとそのサービスが入っていなくても被害は出ていなかったのか、ということを確かめる術はないですから。そのあたりを真面目に考えると、「入れておけばよかった」と後悔する可能性を大幅に減らせたのが「入れてよかった」点でしょうか(笑)。 私にとってサービスそのものと同じくらい価値があるのは、サイバー犯罪やセキュリティに関する最新のニュースを折にふれ届けてもらえることです。サイバーセキュリティというのは今もっとも話題に事欠かない分野です。犯罪の手法も必要な対策も日々変化していますから、自力のみで全ての動向を追っていくのは正直大変だと思います。だからこそ、こういう分野を専門にしている会社が集めて届けてくれるニュースには、たいへん大きな価値があると感じますね。

– ありがとうございました。

株式会社ミルフィーユプラス様

－導入までのご経緯をお聞かせください。
「ain-t」はECサイトの側面もあるため、必然的にお客様の個人情報をお預かりします。そこで、システムの構築段階から、十分なセキュリティ対策が必要であると考えていました。理由は幾つかあります。

まず、弊社のポリシーの１つが、セキュリティ対策を行った一つ目の理由です。一般的なＥＣサイトを運営する企業では、先ずはある程度の利益が出て成長したのちに、セキュリティ対策を行うところもあると思います。 特に、若くて収益性の低い企業であればその傾向は強いでしょう。なぜなら、広告などの販促活動とは違い、セキュリティ対策にどれだけ力をいれても、直接的に売上には貢献しないからです。
しかし弊社は、”主語をお客様に”というポリシーがあるため、「弊社が売上を伸ばすこと」よりも、「お客様が安全に買い物を楽しめる環境づくり」の方が、大事だと考えています。

二つ目の理由として、リスクヘッジの観点が挙げられます。例えば、個人情報の流出などのセキュリティインシデントが一度でも起きてしまうと、お客様は勿論、弊社の事業にも重大な損失が発生します。
サービス停止期間は売上げの機会を損失してしまいますし、ほかにも調査に多大な費用や時間を費やす可能性もあるため、場合によってはサーバの入れ替えや、システムの再構築を行う必要もでてきます。そして何よりも、一度離れたお客様にもう一度ご訪問して頂くことは極めて難しいと考えています。

上記のように”顧客優先”と”リスクヘッジ”という観点より、収益性の低いサービスリリース時でもセキュリティサービスを導入しようと考えていました。 ほかにも、前職はエンジニアとしてシステムを扱っていたことから、セキュリティの必要性を十分に理解していたことも理由の一つでしょう。また、Web関連の会社を経営する友人から、「最低限WAFくらいは入れておいたほうが良い」という助言があったことも、導入を決断するきっかけとなりました。

－「攻撃遮断くん」をお選びいただいた決め手は何でしょうか？
サービスのリリース直後は売上が少ないことは分かっていましたが、リリースと同時にセキュリティサービスを導入することを決めていたので、「いかに低コストで効果の高い対策を行えるか」を重視して、サービスを探しました。
何社も問い合わせて検討しましたが、「攻撃遮断くん」は低価格であることと、日本を代表するような大企業への導入実績があったため、安心して導入を決めました。
コストパフォーマンスの高さのほかに、「攻撃遮断くん」に決めた理由があります。
それは、企業の取組みそのものに対する印象です。具体的には、導入決定前の相談段階でも、問い合わせたときの対応が非常に丁寧で、早かったという点が非常に印象的でした。
顧客へのサポート体制がしっかりしているのであれば、仮にサービス導入後、何か予期せぬ問題が発生して問い合わせた場合でも、親身に対応してくれると感じました。
サービス品質の高さは勿論ですが、サポート体制がしっかりしていることも、非常に大切だと考えています。
今は質の高いWAFを導入していることに加えて、何かあったときも気軽に相談できるため、安心してサービスを運営することができています。

－まだＷＡＦを導入されていない企業様へのメッセージをお願いします。
繰り返しにはなりますが、弊社のような個人情報を扱うECサイトにWAFを導入することは、お客様のことを考えれば当然のことだと思っています。自分がいち消費者の立場で考えたときに、買い物をするWEBサイトのセキュリティ対策が甘かったら不安になりますよね？

「コストがかかるからWAFを入れない」「当社に限って情報漏えいは起きないだろう」という判断は企業側の都合であり、お客様にとっては関係のないことです。 本当にお客様のことを考えているのであれば、WAFの導入は有意義な選択でしょう。 弊社のようなスタートアップ規模の企業でも、「攻撃遮断くん」なら十分に導入することができますので、少しでも多くの企業に導入してほしいと思います。

－ありがとうございました。

株式会社ラネクシー様

－「攻撃遮断くん」の導入までの経緯と課題をお聞かせください。

弊社のクラウドサービス「Ashiato通信」のリリースに伴い、お客様への安全なサービス提供を目指し、セキュリティ対策を検討していました。

「Ashiato通信」は、サービスの特性からお客様の個人情報等を取り扱うため、より強固なセキュリティ対策が必要となります。

利用されるお客様には、セキュリティ審査に厳格な企業も多数いらっしゃいます。 その要件をクリアする為にも、よりセキュリティレベルの高いサービス環境を構築する必要がありました。

そうした背景の中、複数のセキュリティ対策を導入していく上で、Webサイトのセキュリティサービスであ るWAFも検討しました。

しかし、WAFを導入するまでには、大きな課題としてサービスを維持する為の管理リソースと運用コストの問題がありました。

－「攻撃遮断くん」をお選びいただいた決めては何でしょうか？

「攻撃遮断くん」を選んだ理由は大きく2つあります。

まず１つ目は、WAFの運用・保守に手間がかからないことです。 シグネチャも自動で最新の状態にアップデートされるため、弊社にて専任の技術者を用意する必要がなく、運用をお任せすることができました。

2つ目は、他社製品と比べた際のコストの低さです。高いレベルのセキュリティ機能を有しながら低価格で利用が可能なので、非常にコストパフォーマンスがいいサービスだと感じています。

よって、弊社がWAFを導入する際に課題として抱えていた、管理リソースと運用コストの問題が解決できると判断し、「攻撃遮断くん」の導入を決めました。 また、「攻撃遮断くん」を導入してもレスポンスの低下やサービス障害も起こらず、安心して利用できています。

－導入を検討中の企業様へ向けて提言などがあればお聞かせください。

セキュリティ対策はゴールがあるわけではありません。どこから投資するかの判断は非常に難しいかと思います。

例えばサイバー攻撃から重要情報を守るためだけでも、複数のセキュリティ対策を施す必要があります。その中でWebサイト守るWAFも重要なセキュリティ対策の一つであると思います。

どこまでセキュリティ対策をするべきか、何のセキュリティサービスで対策するべきか取捨選択する際、コストパフォーマンスが高く導入ハードルの低い「攻撃遮断くん」は 対策のファーストステップとして非常に取り入れやすいサービスではないでしょうか。

－ありがとうございました。

株式会社エヌリンクス様

NLINKS

– 導入までの経緯を教えてください。

メディア運営をメイン事業にすると決まったときから、セキュリティ対策はきちんと考えておかなくてはいけないと思っていました。 当社のような、ウェブを中心にBtoCで事業展開している企業は、一回攻撃を受けてしまうとかなりダメージが大きいからです。 昨今のサイバー犯罪に関する報道のされ方を見ていても、会社のセキュリティが甘くてサイバー攻撃の被害を受けたとなれば、一般のお客様の信頼を大きく損なうのは間違いありません。

ニュース記事に「ここの公式サイトを見るとウイルスに感染して不正送金の被害に遭う可能性がある」などと書かれているのを読んだら、普通のお客様はもうその会社に近づいてはくれませんよね。特に今は会社にとって大事な時なので、そういった信用にはいっそう気を使っています。

– 「攻撃遮断くん」を導入してよかった点をお聞かせください。

攻撃を受けたせいでサーバがダウンしてしまう、というのが私達にとって最も避けたいことですが、「攻撃遮断くん」を入れて以降そういう事態に見舞われたことは一度もありません。性能や費用対効果には十分満足しています。

当社メディアの最大のセールスポイントは「24時間365日いつでも探せる」という点ですから、サーバを常に安全な状態で稼動させることが何よりも大事なんです。そのため、自動シグネチャ更新でいつも最新の脅威に対応できる点は「攻撃遮断くん」を選んで特によかったと感じることの一つです。

それから、サーバCPUへの負荷が小さい点も。要は私達の求めるものが過不足なくサービスとして実現されているということなので、これ以上の改善点が思いつかないくらいですね（笑）。

– ありがとうございました。

株式会社イオシス様

– まずは導入までの経緯をお聞かせください。

導入したのは一年くらい前、ちょうど社内のシステムをこれから本格的に構築していこうという時期でした。それまでは社内のサーバに情報を置いて、いわばイントラで諸々の作業を行っていました。

しかし、業務上、社外・海外からのアクセスが必要となり、情報を社内だけに置いていると不便に感じることが増えてきたんです。情報をウェブ上に置けば便利にはなりますが、今まで以上に攻撃を受けやすくもなります。そんなわけで、特にサーバを守るための仕組みを探していた時、「攻撃遮断くん」を知りました。

– 「攻撃遮断くん」をお選びいただいた決め手は何でしょうか。

クラウド型のこのサービスの他にも、ハードウェアが必要なもの、別途サーバが必要なもの、いろいろと比較検討を行いました。その中でも最終的に「攻撃遮断くん」に決めた理由は、管理者が頭を悩ませることなく「すぐに導入できる」といったところです。

我々の部の人数はそれほど多くありません。人力でログを監視する方法だと、人手も時間も大幅に奪われるのが困りものでした。セキュリティ対策は当然しっかりとやるべき事ですが、そのために本業がおろそかになってしまうのでは本末転倒です。 任せられるところは最大限任せたい、と考えた結果「攻撃遮断くん」に行き着きました。

– 導入後、「入れてよかった」と感じていただけた場面はございますか。

社外には公開していない、検索エンジン等には引っかからないサイトなので、普通のサイトに比べれば攻撃も受けづらいようです。しかし、それでも攻撃がゼロではないんですよね。通知メールや月次レポートで攻撃の様子が見えて、そこから得る気づきなども多いので、入れておいてよかったとは思います。

たとえば、総当たり作戦で来ているものよりも、ピンポイントに特定のファイル名を狙ってきたものの方が対処を急がなければならないとか。どんな理由でアクセスを試みられたのかが詳しく説明されていますので、対策をとりやすいと感じます。

– ありがとうございました。

株式会社タカラッシュ様

タカラッシュ!

– サービス導入のきっかけをお聞かせください。

ちょうどセキュリティ問題がニュースで騒がれはじめた頃に社内ウェブ担当になり、企業のサイバー犯罪対策は案外甘いものだなと危機感を持ったのがきっかけです。その危機感は、会社が成長するにつれて強くなりました。まず大手のお客様からのご依頼が増え、会社で扱う案件の規模も拡大してきたので、ここで万一サイバー攻撃を受ければこれまで以上に大きな信用問題に直結してしまうと感じました。また、会社の知名度が上がり自社情報が多くの人の目に触れるようになれば、それだけ犯罪者に狙われる可能性も上がるだろうと考えました。サーバから重要な情報を盗まれて信用を失うリスク、ウェブサイトを改ざんされ、一般のお客様にマルウェアやスパムメールを送りつけて加害者になってしまうリスク。どちらも会社にとっては絶対に避けたいものです。

– では、それらの予防策に「攻撃遮断くん」を選んだ決め手は何でしょうか。

担当者の視点から言いますと、「攻撃遮断くん」に決めた理由は導入がいちばん簡単だったことです。システム周りにそれほど明るくない人間でも、細かな設定は全てサイバーセキュリティクラウドさん側でやってもらえるので助かりました。もちろん導入の簡単さ以外にも、圧倒的な防御率の高さなど長所はたくさんありますが、それらはどちらかというと上層部を説得する上での理由になりました。　もう一つ付け加えるなら、サポート力の高さですね。とにかく問い合わせに対してのレスポンスが早かったんです。電話をかけても盥回しにされず、すぐに担当部署の方からの答えが返ってくるので好感を持ちました。これは使い始めてからの話になりますが、セキュリティに関して問合せの電話をかける時というのは非常に焦っている場合がほとんどです。そんな時、すばやく対応してもらえるというのはとても安心感があります。

– 導入後、どのような場面で「入れてよかった」と感じていただけましたか。

予防目的で入れたので、導入の前後で劇的な変化があったわけではありません。ただ、3ヶ月目くらいに届いたレポートに攻撃を遮断した報告が載っていて、サイバー犯罪は自社とも無縁ではないのだと思ったことを覚えています。あとはサーバの調子がおかしくなったときに、以前なら攻撃のせいである可能性を真っ先に考えて確認に追われていたところですが、導入後はその可能性をいちばん最後に回して対処にあたることができるので、業務が効率的になりました。

– ありがとうございました。

株式会社メトロコンピュータサービス様

– 導入までのご経緯をお聞かせください。

弊社は小売関係のシステムベンダーとしてASPサービスの運営や自社ホスティングサービスを行っていますが、最近は個人情報を取り扱う機会が非常に多く、お客さまからもセキュリティ対策のご要望を頂くことが増えてきました。
個人情報漏洩などの事故が起きてしまうと、その情報の二次被害により、ご利用いただいているお客様にご迷惑をおかけしてしまうので、情報漏洩の事故が起きないように以前から非常に危機感をもって対策をしていました。

今回WAFの導入を検討したのは、従来からファイアウォールはもちろん、IPS製品（ハードウェア）を導入してシステム構築し個人情報漏洩などの事故を防いでおりましたが、さらなるセキュリティ対策の強化を考え、WAFの導入を考え始めました。
また、以前より導入していたIPS製品の保守契約が切れるタイミングでしたので、契約更新をするか新しいIPS製品・セキュリティサービスを導入するか、どちらで対策をするかを検討をしておりました。

– 攻撃遮断くんをお選びいただいた決め手は何でしょうか？

攻撃遮断くんの導入を決めた理由は大きく３つあります。

まず、攻撃遮断くんは導入が非常に簡単であるということです。
従来のIPS製品とは異なり攻撃遮断くんは自社のWebサービスを停止することなくIPS＋WAFを導入することができ、さらに、エージェントキーをインストールするだけで利用可能なため、現在のシステム構成の変更を最小限に抑えて導入するこが可能でした。

２つ目の理由は、以前に導入していたIPS製品は、ハードウェア料金と保守料金が非常に高額でしたが、攻撃遮断くんは初期費用、運用コストを非常に低く抑えて導入することが可能であったことです。

３つ目の理由は、従来のIPS製品の管理はシグネチャの更新の管理が大変でしたが、攻撃遮断くんはクラウド型のIPS＋WAFなので、自社で最新バージョンへアップデート等の管理の必要なく、新たな攻撃にも素早く、かつ自動で対応して頂けると思いました。
低価格でありながら、導入も簡単で運用に手間がかからないということで攻撃遮断くんの導入を決めました。

– 攻撃遮断くんを利用していて良かったと感じる点を教えていただけますでしょうか？

弊社のサーバが外部から攻撃されている時は、アラートメールが届き攻撃の状況を知らせてくれます。
また、管理画面でもサイバー攻撃の状況をリアルタイムに確認ができるので、悪意のある攻撃を即時にブロックできる点もメリットだと感じています。一番驚かされたのは、本当に遮断してくれているのかというほど動作が軽いことですね。
Webサイトのセキュリティは「攻撃遮断くん」に全て任せることが出来るため、安心してサービスを運用することができています。

– ありがとうございました。

株式会社八重洲出版様

八重洲出版

－「攻撃遮断くん」導入までの経緯をお聞かせください。

以前は「極力サーバに情報を置かない」という方法で自衛していました。サーバに置くのは公開用の情報のみとし、そうでない情報は面倒でも手作業で社内データベースに収めていたんです。しかしここ数年、業務で扱う情報の量もぐっと増えたため、従来の方法では手間がかかりすぎるのが問題になっていました。情報化が進む中でたくさんの業務を効率的に進めるためには、やはりサーバを情報置き場として上手く使っていく必要があります。そこで、今後の業務拡大・効率化を見据えたサーバ強化が不可欠だということになり、サーバ用のセキュリティサービスを探し始めました。

－「攻撃遮断くん」をお選びいただけた理由は何でしょうか。

まず目を惹いたのは価格です。他社が簡単に100万超えの価格を提示してくる中では破格の安さでした。それからサーバCPU負荷がゼロに近いこと、メンテナンスを自分でしなくていいことも理由ですね。

－では導入後、「入れてよかった」と感じていただけるのはどのような場面でしょうか。

まずメールで届く攻撃検知アラートですが、あれは実際に攻撃を受けたのがリアルタイムで分かって面白いですね。月に一度のレポートの方は、攻撃元や各IPアドレスの危険度の情報を中心に見ています。攻撃の種類や数に国ごとの傾向があって、なかなか興味深いんですよ。独力で把握するのは難しい情報なので、定期的にまとめてもらえて助かっています。

本当に「入れてよかった」と感じるのは、むしろこれからのような気がしています。最近のニュースで、サイバーセキュリティ基本法案の成立はほぼ確実と聞きました。セキュリティ対策を怠っていてサイバー犯罪に巻き込まれた企業は、利益や信用を失うだけでなく、社会や消費者に対する責任をより厳しく追及されるようになるのでしょう。そういうニュースを耳にしても、既にセキュリティ対策が済んでいれば、いたずらに慌てたり焦ったりする必要がありません。

ニュースといえば、「攻撃遮断くん」が金融機関にも導入されたそうですね。そういった機関に選ばれるというのは、「攻撃遮断くん」の性能や費用対効果が優れていることの証だと思います。自社で早い時期に導入したサービスがこのように評価されていると、安心感がよりいっそう高まります。

情報セキュリティエキスポなどを見て改めて認識したんですが、企業向けのセキュリティ製品は本当に高価です。我々のようないわゆる中小企業では、導入したくてもできないところが大多数でしょう。ですからサイバーセキュリティクラウドさんには、みんなが導入できるリーズナブルなサービスを、今後もどんどん販売していただきたいと思います。

－ありがとうございました。

ペイレスイメージズ株式会社様

– 攻撃遮断くんの導入の経緯と、攻撃遮断くんを選んだ理由をお聞かせください。

当初はやはり価格の安さが目を引きました。調べてみると、数十万、数百万というサービスもたくさんありまして、初期投資のハードルがかなり高いなと感じていました。海外のサービスも調べてみましたが、サポートも含めてやはり日本のほうが安心という結論に至りました。そうして探しているうちに、攻撃遮断くんに行き着きました。

– 「導入してよかった」と感じていただけた場面はございますか。

そうですね。低価格なんですが毎回レポートも送っていただいてますし、導入後にどれほどの攻撃があったかということも明確にわかるようになりました。攻撃遮断くんを導入したことによって、特にサイトに被害が出ているわけではないという安心感も得られました。そういった点から、やはり導入してよかったなと思っています。

– 弊社のイメージや「攻撃遮断くん」にこんな機能があったら嬉しいなど、ご要望などはございますか。

とにかくサービスのネーミングが印象的でしたね（笑）攻撃遮断くんっていうのが非常に耳に残っています。機能については今後も管理画面に新機能を実装していくと聞いていますので、期待していますし、要望がありましたらまたご相談させていただきます！

– ありがとうございました。

お問い合わせ

会社名	株式会社サイバーセキュリティクラウド
本社所在地	〒150-0011 東京都渋谷区東3-9-19　VORT恵比寿maxim3階
Webサイト	コーポレートサイト：http://www.cscloud.co.jp サービスサイト：https//www.shadan-kun.com
電話での お問い合せ	03-6416-1579（平日10:00～18:00）
メールでの お問い合わせ	sales@cscloud.co.jp